

2009年度

科目名	西洋史学			
担当教員	小林 典子			
配当	教育3		コード	22180
開期	通年	講時	火曜日2限	単位数 4
授業テーマ	近代的社会システムのルーツを考える			
目的と概要	現代グローバル社会は、かつてヨーロッパが生み出した近代社会システムの理念と遺産の上に築かれています。「ヨーロッパ近代」はわたしたちの生活に、自由と豊かさという恵みをもたらし、日本人にとっては遠いあこがれの対象でありつづけてきました。けれども同時にそれは環境破壊や国際紛争など地球的規模の問題をかかえこんできていることも確かです。21世紀の冒頭にたつ今、ますます「ヨーロッパ近代」の意味とその価値が問われることでしょう。ヨーロッパの歴史の流れをその始原にさかのぼりつつ、とくに近代の「ルネサンス」現象と「フランス革命」に焦点をあてて概観し、理解を深めます。			
成績評価法	学期末に提出するレポート+平常点や授業時のミニ・レポート			
テキスト	授業時に資料配布			
参考書	『<ビジュアル版>『ヨーロッパの革命 二重革命の時代—フランス革命と産業革命—』(塚塚忠躬 講談社) 『<ビジュアル版>ヨーロッパの出現』(樺山紘一 講談社) 『山川世界史総合図録』 その他必要に応じて指示			
履修に 当たっての 注意・助言				
講義計画				
[前期授業] 第1回 開講にあたって:授業プログラムとオリエンテーション ーなぜヨーロッパ史をまなぶのか:すべての歴史は現代史であるー 第2回 西洋史の対象と方法(1)「西洋」とはなにか 第3回 西洋史の対象と方法(2)「西洋」をどう見るか 第4回 ヨーロッパの誕生:ケルトとゲルマン 第5回 ヨーロッパの誕生:ケルトとゲルマン 第6回 ヨーロッパの宗教:キリスト教の誕生と導入 第7回 ヨーロッパの宗教:キリスト教の誕生と導入 第8回 ヨーロッパのアイデンティティ:偉大なる地中海文明 ー近代の夜明けとしてのルネサンスー 第9回 イタリア・ルネサンスの開花 第10回 イタリア・ルネサンスの開花 第11回 イタリア・ルネサンスの開花 第12回 ルネサンス概念の検証とその現代的解釈 第13回 ルネサンス概念の検証とその現代的解釈 第14回 ルネサンス概念の検証とその現代的解釈 第15回 まとめ				
[後期授業] 第1回 後期開講にあたって:授業プログラムとオリエンテーション ーアナール学派から読み解く中世からフランス革命へー 第2回 新しい西洋史:フランス現代「アナール」学派の試み 第3回 近代の誕生 第4回 近代の開幕 第5回 啓蒙の世紀 第6回 フランス革命の背景 第7回 立憲王政の成立 第8回 民主的共和制の成立と革命の終焉 第9回 近代市民社会(ブルジョワの世紀) 第10回 アナール学派さまざまな言説の誕生 第11回 アナール学派さまざまな言説の誕生 第12回 パリ万博と近代都市計画 第13回 パリ万博と近代都市計画 第14回 「近代」がかかえる問題:「普遍」と「個人」 第15回 まとめ				